



トルコの経済情勢と今後の見通し、および地政学リスクについて

公益財団法人 国際通貨研究所
開発経済調査部 主任研究員
九門 康之

<要旨>

- IMF は 2021 年のトルコの実質 GDP をプラス 6%と予想している。コロナ対策としての景気刺激策による経済のリバウンドを想定しているが、コロナ感染者数は再び増加しており収束が見通せないことや、ファンダメンタルズに輸出の EU 依存等の脆弱性があるなど下振れリスクが残る。
- 財政収支は、新型コロナ関連の景気対策で歳出が拡大する一方で、経済活動が低迷したことにより税收の伸びが鈍く、赤字が拡大している。
- 2021 年上期は、輸出およびサービス収支の改善により経常赤字が縮小したものの、年内の経常赤字の大幅な改善は難しい。金融収支は、海外直接投資（FDI）の流入が 2016 年以降、減少傾向にある。証券投資は、トルコ国内の政治動向、為替相場、金利などに左右され不安定である。
- 金を除く外貨準備は、2021 年 6 月には回復して 572 億ドルとなったが、2014 年以降減少傾向を続けており注視が必要。金を含めた外貨準備高は 977 億ドルであるが、金の一部を担保として資金調達しており実態に不明な点がある。
- トルコリラの急激な下落は現状収まっているものの、8 月のインフレ率上昇に対して、政策金利は 19%と不変で、米ドルとの実質金利差が拡大傾向にある。また、外貨準備高が大きく増加する要因はないことから、短期的にトルコリラが上昇に転じる可能性は低い。但し、CDS は、2021 年夏以降急激なリスクの上昇はなく、前年

比改善している。

- 格下げ可能性について、国内の信用拡大は現状収まっており当面 Moody's の「B3」への再格下げはないと思われる。他方、S&P が心配する銀行の外貨資金繰り難は、経常収支の悪化の結果発生する可能性があり、S&P が今後「B」への格下げに踏み切る可能性が残る。
- トルコの課題は、ファンダメンタルズの脆弱性、海外資本流入の不安定性、孤立した外交、国内与信の急拡大などである。他方、強みとしては、若年層が多く人口のボーナスを享受できる余地があること、基礎学力が改善していることや、EU 向け輸出の潜在的伸びが挙げられる。
- 地政学リスクは存在するものの、顕現化していない。注意すべきは対米関係で、S400 ミサイル購入など特別扱いを望むトルコ外交は、正論と組織で対応する米国と姿勢がかみ合っていない。一方、周辺国のリビアやシリアでの紛争リスクは低減した。アフガニスタンについては、欧州を目指す難民のトルコへの流入が懸念されるため、東側国境の警戒を厳重にしているが、今後の動向には注意が必要である。

＜本文＞

トルコ経済は新型コロナの影響を受けて低成長を続けている。本稿はトルコの経済情勢と新型コロナの影響を踏まえた今後の見通し、およびトルコをとりまく地政学リスクについて報告する。最初に、トルコにおける新型コロナ感染の状況について、トルコ政府の対応も含め触れ、次に、同国のマクロ経済動向の見通しについて述べる。最後に、地政学リスクと今後の見通しについて報告し、地政学リスクの評価と状況が悪化する場合のトリガーポイントについて整理する。

1. トルコにおける新型コロナ感染の現状

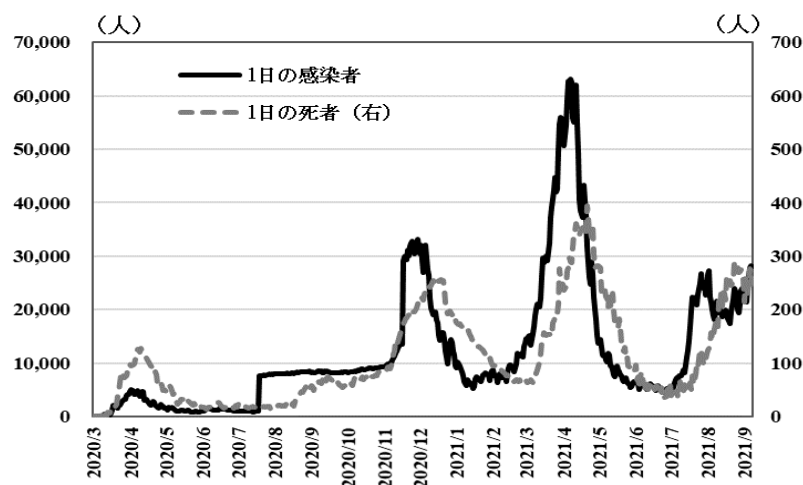
(1) 現況

2020 年 3 月に新型コロナ感染者が増加して以降、2020 年 4 月中旬に感染拡大の第 1 波、2020 年年末にかけて第 2 波、2021 年 4 月に第 3 波が襲った（図表 1）。

トルコ政府は新型コロナ感染者が増加し始めた 2020 年 4 月上旬より行動制限を実施した。5 月後半には感染者数・死者数ともに落ち着き、一旦感染が収束に向かったが、6 月に一部制限の緩和を行ったところ感染者が徐々に増加し、2020 年末に 1 日の感染者が 3 万人を超えた。トルコ政府は再度の行動制限を実施して、感染者の拡大を抑えたが、

2021 年 4 月のラマダン月をピークに 1 日の感染者が 6 万人を超えて第 3 波となった。これに対し政府は、3 度目の行動制限を実施して感染を抑え込んだ。その後 6 月には、感染者数が落ち着いたことから制限緩和を行ったところ、8 月末にかけて再び感染者数が増加した。

図表 1：トルコでの新型コロナ感染者・死者の推移



(注) 感染者は、2020 年 7 月末までは新規発症者数、同以降新規感染者数
(資料) WHO データより国際通貨研究所作成

(2) ワクチン接種状況

トルコ政府はワクチン接種の努力をしているが、集団免疫獲得のめどはたっていない。

2021 年 1 月、シノバックおよびファイザー製のワクチン接種を開始。65 歳以上の国民、医療従事者から始め、5 月末現在、人口の約 35%が 1 回以上の接種を受けた¹。中東では資金力があるサウジアラビアで同約 40%であることを考えれば、トルコの水準は悪くない。トルコ在住許可保有者であれば、外国人も接種を受けることができる。

集団免疫は、100 人あたりの接種完了人数が 50 人を超える英国やイスラエルが 2021 年秋頃には獲得するといわれる²。トルコは、同人数が 100 人あたり 19 人と少なく、現在のペースで進んでも、集団免疫獲得は 2022 年以降になるとみられる。なお、トルコ政府は接種の遅れを挽回するため、5 月に中国シノベックとワクチンの国内生産に合意した。

¹ JETRO の情報。

² 日本経済新聞電子版情報。2021 年 7 月 7 日現在。

(3) 経済対策

政府は 2020 年 3 月、GDP の約 7%に達する経済対策を決定。納税猶予を中心とする財政支援、信用保証拡大、低利融資実施等の流動性支援、トルコ・ウエルス・ファンドによる救済買収などを中心とするもので、これらにより 2020 年前半、大きく減速した経済が、同第 3 四半期にはプラスに転じ、通年では+1.8%の実質成長を維持した。

また、2021 年 3 月、エルドアン大統領は、「コロナ後」を意識した「新経済改革パッケージ」を発表した（図表 2）。同政策は、6 月に設置された副大統領と財務省傘下の「金融安定委員会」および「経済調整委員会」によって 2023 年を目標に実施する。財政規律強化では、歳出の見直しと納税手続きのデジタル化により財政収支を改善し、公的債務を削減するとしている。インフレ抑制に関しては、食品を中心とした消費財の市場価格を監視する。本パッケージにより財政収支が改善しインフレが抑制されれば、トルコ経済が力強さを取り戻すことが期待される。しかし、2023 年の大統領選挙に向けて大統領と与党の公正発展党（AKP）が支持率を高めるため、景気対策を優先して歳出を拡大する恐れがあり³、パッケージの効果は今後見極める必要がある。

図表 2：トルコ政府の新経済改革パッケージ

マクロ経済政策	・財政規律強化 ・インフレ抑制 ・金融セクター強化 ・経常赤字削減 ・雇用拡大
構造改革	・制度改革 ・投資促進 ・国内商取引円滑化 ・競争力強化 ・市場監視と管理（インフレ抑制目的）

（資料）各種報道より国際通貨研究所作成

2. マクロ経済の見通し～新型コロナ感染拡大の影響～

(1) 経済成長

2020 年、新型コロナ感染拡大にも拘わらず、トルコの実質 GDP 成長率は前年比+1.8%とプラス成長を維持した。IMF は 2021 年の実質 GDP 成長率を前年比+6%、2022 年は+3.5%と予想している（図表 3）。

四半期ベースの動きを見ると、感染が拡大した 2020 年 3 月以降、公衆衛生措置の実施により、経済活動が一旦大幅に縮小した。2020 年第 1 四半期は民間消費や総固定資

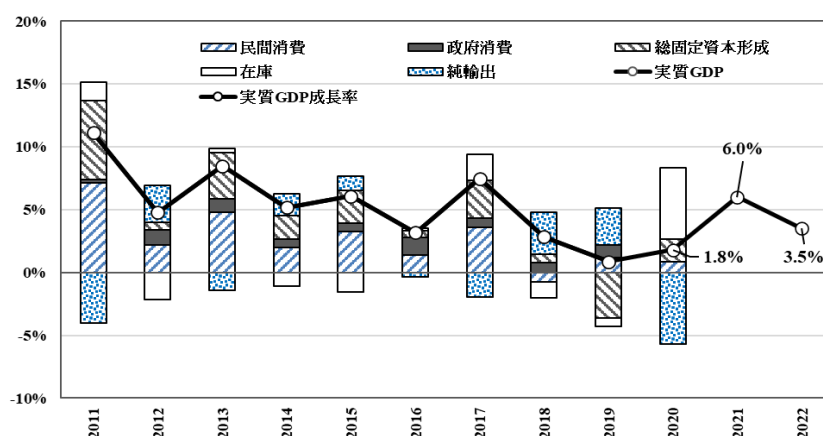
³ 大統領支持率 46.2%、AKP 支持率 30.2%といずれも低下傾向にある。JETRO アジア研究所資料。

本形成が前期比で大きなマイナスとなり、この傾向は同第2四半期も続いた。第3四半期に入ると、政府の景気刺激策とコロナ感染の収束期待から、民間消費や総固定資本形成がプラスに転じ、第4四半期も前期比プラス成長を維持した⁴。しかしながら、2021年第1四半期に感染者数が再拡大すると消費が減少し、経済成長はマイナスとなった（図表4）。

2020年の景気悪化は、公衆衛生措置によるものであるが、制限を緩和すると経済は成長するが感染者が拡大し、感染を抑え込むために再度制限を導入すると経済成長も再度鈍化する、というサイクルを繰り返している。これを断ち切るためには、ワクチン接種により集団免疫を獲得し、公衆衛生措置を緩和しても感染が広がらない状態を作る必要がある。

IMFは2021年のトルコの実質GDPをプラス6%と予想している。これはコロナ対策としての景気刺激策による経済のリバウンドを想定したものであるが、下振れリスクが残ると思われる。理由は、コロナ感染の収束が見通せないことに加え、トルコのファンダメンタルズに幾つかの脆弱性があること、および政治的な圧力により金融政策の予見が難しいことや地政学リスクにより海外資本の流入が安定しないことである。

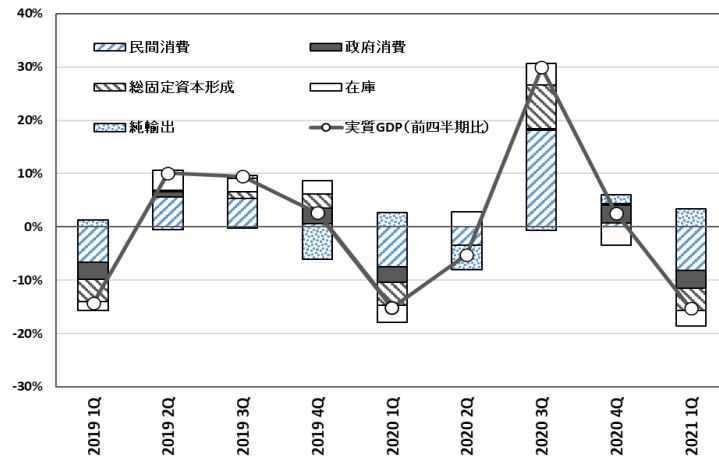
図表3：実質GDP成長率（前年比）



（資料）IMF データより国際通貨研究所作成

⁴ 四半期の数値は未季節調整数値。新型コロナ前は、夏季に観光客が増加するため、第2四半期から第3四半期にかけて景気が押し上げられる傾向があったが、2020年は新型コロナのため観光客が来訪しておらず、第3四半期の伸びは政府の景気刺激策によるものと思われる。

図表 4：実質 GDP 成長率（四半期推移）

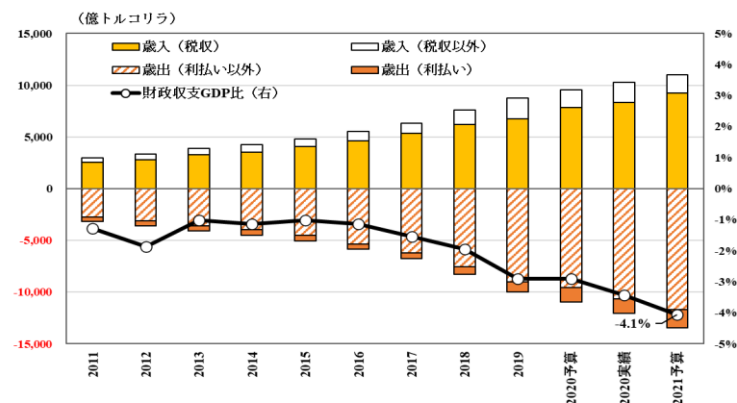


（資料）トルコ統計局データより国際通貨研究所作成

(2) 財政収支・公的債務

財政収支の推移をみると、2015 年以降、歳入の伸びが歳出の伸びをカバーできず収支が悪化し、2020 年是对 GDP 比 3.4%の赤字となった（図表 5）。2021 年予算は、歳出が 1 兆 1,660 億トルコリラ（1,372 億ドル）⁵と過去最大規模である。歳入は税収拡大などにより 1 兆 1,010 億トルコリラ（1,295 億ドル）を見込むが、財政赤字は GDP 比 4.1%と 2020 年実績よりも拡大する。

図表 5：財政収支の推移（年次）

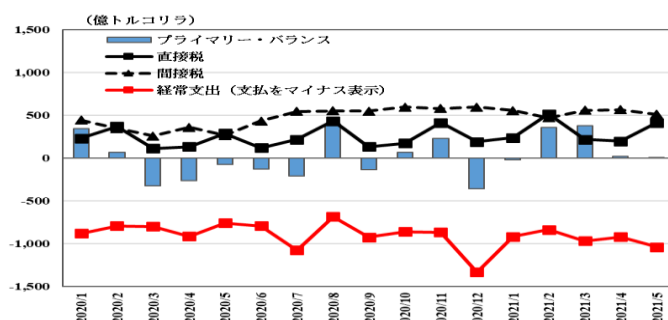


（資料）財務省データより国際通貨研究所作成

⁵ 換算相場は 1 ドル 8.5 トルコリラを使用。

月次の財政収支には、新型コロナ感染拡大の影響が現れている。2020年3月から7月にかけて、法人税や付加価値税（VAT）の納付を猶予したため、プライマリーバランス（基礎的財政収支）が赤字になった（図表6）。その後も、直接税の納付月を除き、プライマリーバランスはほぼゼロか赤字となっている。2020年8月以降、間接税の水準が回復したが伸びは鈍い。この傾向は、新型コロナによる経済活動の低迷を反映したものであり、2021年から2022年にかけて継続するものと思われる。

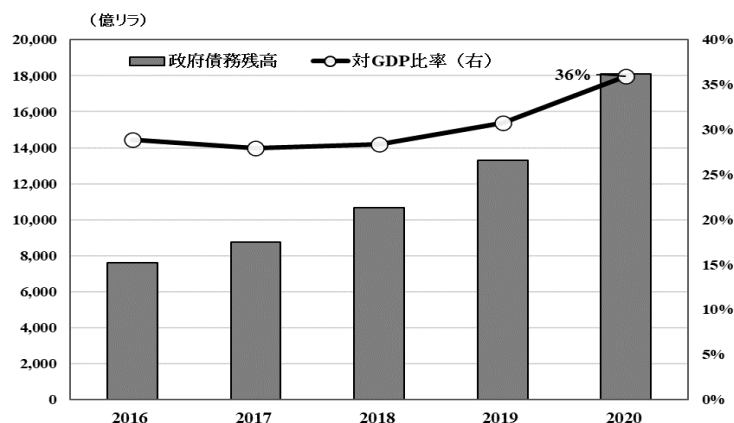
図表6：財政プライマリーバランスの推移（月次）



（資料）財務省データより国際通貨研究所作成

財政赤字は政府部門の民営化や資産の売却で補うが、不足する部分を借入で賄っている。トルコ政府の債務残高は増加を続けているものの、2020年末現在、対GDP比率では36%にとどまっており、追加借入余力があることを示している（図表7）。

図表7：トルコ政府債務残高推移



（資料）トルコ財務省データより国際通貨研究所作成

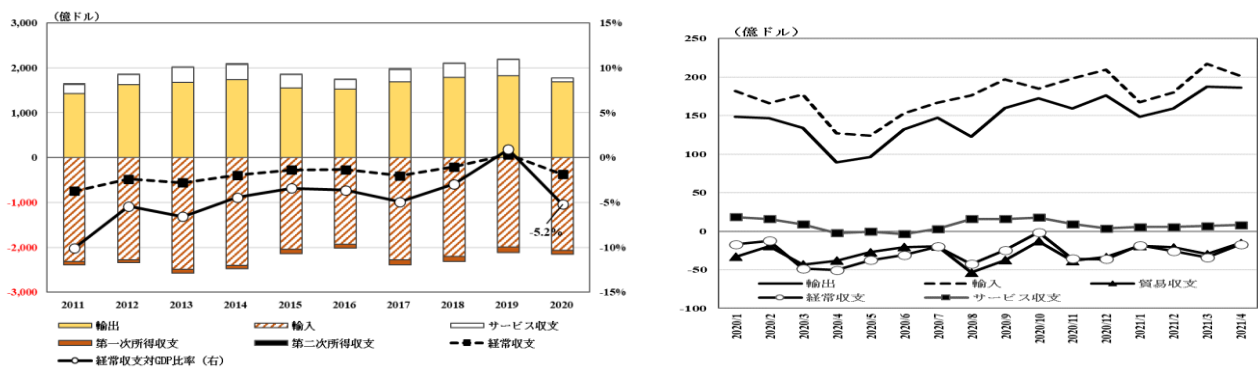
(3) 対外収支（経常収支・金融収支）

① 経常収支

2020 年、輸出の減少とサービス収支の悪化により、GDP 比 5.2%の大幅な経常赤字に陥った（図表 8）。輸出の減少は、EU をはじめとする輸出先の景気が新型コロナの影響を受けて低迷したことによる。サービス収支の悪化は、新型コロナ対策で国境を越えた移動が制限され、観光客が激減したことが原因である。月次でみると、2021 年 1 月以降、経常収支が若干改善の方向にあるが、大きく好転する兆しは見られない（図表 8）。

2021 年上期、EU の景気が回復の兆しを見せていることから、輸出やサービス収支が改善した。年後半にかけて改善が続くものと思われるが、2019 年の水準まで回復することは難しく、2020 年に続き経常赤字になるものと思われる。

図表 8：経常収支の推移（左：年次、右：月次）

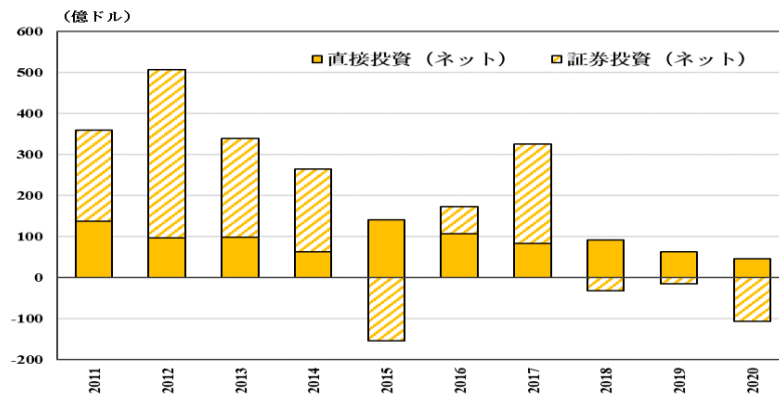


（資料）トルコ中央銀行データより国際通貨研究所作成

② 金融収支

金融収支は、長期性資金である海外直接投資（FDI）の流入が 2016 年以降、減少傾向にある。短期性資金である証券投資は、トルコ国内の政治動向、為替相場、金利などに左右されて不安定な動きをしている（図表 9）。証券投資は流出が続いており、新型コロナ感染の影響が終息するまで、この傾向が続くものと思われる。

図表 9：金融収支、海外直接投資と証券投資収支推移

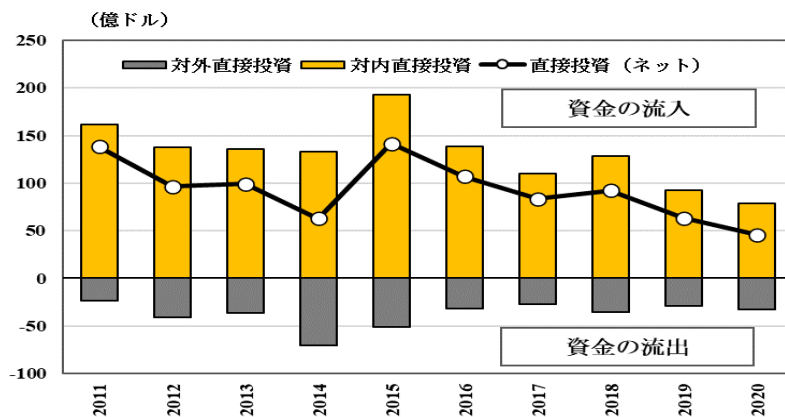


(資料) トルコ中央銀行データより国際通貨研究所作成

③ 海外直接投資（FDI）

FDI はトルコの外貨繰り強化の柱の一つである。トルコは EU、ロシア、中東産油国に近いこと、およびトルコそのものの人口が大きい⁶ことから製造業を中心に外資の進出が多い。しかしながら、FDI 金額は、2016 年まで年間 130 億ドルを越える水準で推移してきたものの、2016 年にクーデター未遂事件が発生すると減少が始まった。2020 年は新型コロナの感染拡大により世界的に経済活動が低調になったことから 78 億ドルとなった（図表 10）。2021 年も新型コロナの影響により FDI 金額は引き続き減少が予想される。

図表 10：海外直接投資の推移



(資料) トルコ中央銀行データより国際通貨研究所作成

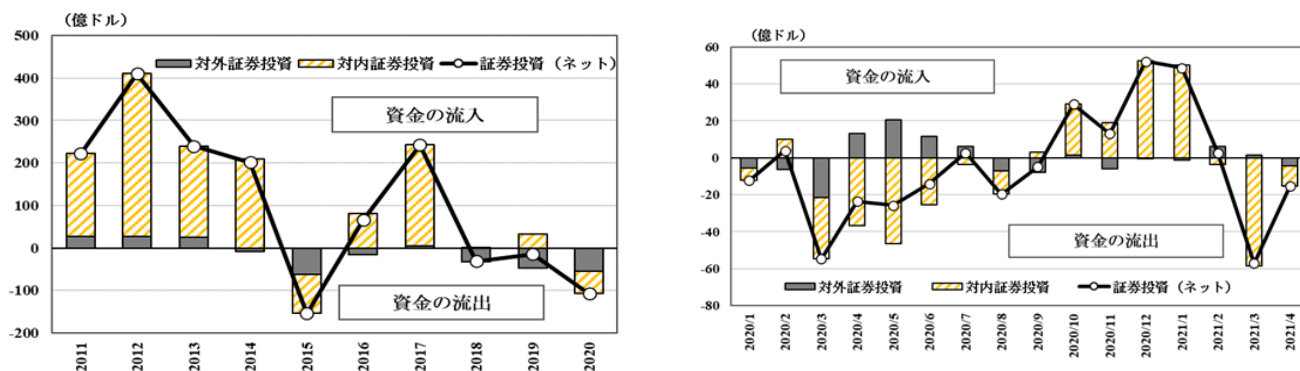
⁶ 2020 年現在約 8,400 万人

④ 証券投資

トルコリラは名目金利が高いため、投資対象の一つとされる傾向があるが、資金の流れはトルコ国内の政治動向、為替相場、金利等に左右され不安定である。2015 年夏から秋にかけてトルコ各地でテロ事件が発生すると、証券投資資金が国外に流出した。その後、2017 年にかけて資金が流入したが、2018 年夏にトルコリラ相場が暴落すると、再び流出に転じた。2020 年は新型コロナ感染拡大によりトルコ経済の活動が低下したことから流出が継続した（図表 11）。2021 年は海外経済の回復につれトルコ経済も持ち直していけば、流入超に転じると思われるが、政策の不透明さや地政学リスクの残存等から、そのペースは緩やかなものにとどまるとみられる。

月次でみると、新型コロナ感染が拡大した 2020 年 3 月から 7 月にかけて大きく流出し、その後、2020 年末から 2021 年初にかけて流入超となったが、3 月に再び感染が拡大すると流出に転じている（図表 11）。

図表 11：証券投資の推移（左：年次、右：月次）



（資料）トルコ中央銀行データより国際通貨研究所作成

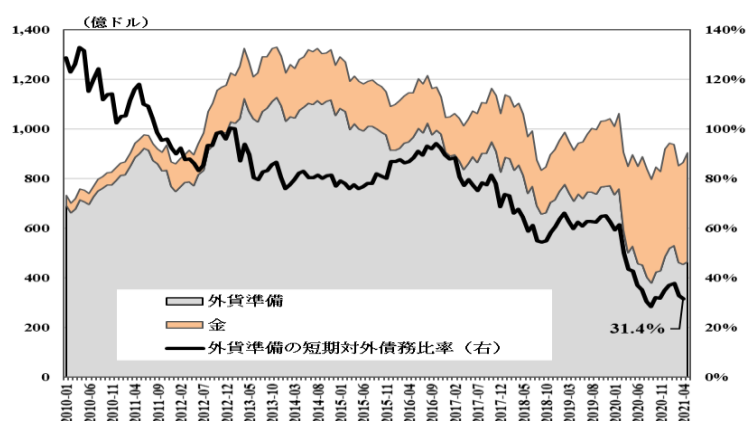
(4) 外貨資金繰り（外貨準備・対外債務）

① 外貨準備

金を除く外貨準備は 2014 年以降減少傾向を続けている。2017 年 11 月までは 900 億ドル近くで推移していたが、2018 年夏の「トルコ通貨危機」時に 655 億ドルまで急減した。その後、一旦回復し、700 億ドル台半ばで推移していたが、新型コロナ感染の拡大による景気悪化懸念により証券投資資金が流出したことで、2020 年 4 月に 500 億ドルまで低下。さらに、トルコリラの買い支えに外貨を使用したため 9 月には 379 億ドルに

低下した。その後、回復して 2021 年 6 月末には 572 億ドルとなった⁷。この金額は、前年同月比 114 億ドル増加しており、輸入の 3.3 か月分、短期対外債務の 39%で、一般に適正水準といわれる輸入の 3 か月分は超えているが、短期対外債務の 100%を下回っている。また、IMF が公表している Assessing Reserve Adequacy Metric (ARAM) は、2020 年末現在 74%で、適正水準と言われる 100~150%を下回っている。このうち、金保有高⁸は漸増しており、同じく 6 月末で 405 億ドル（前年同月比プラス 14 億ドル）であったが、外貨準備として評価できるかは不透明な部分がある（図表 12）。

図表 12：トルコの外貨準備の推移



（資料）トルコ中央銀行データより国際通貨研究所作成

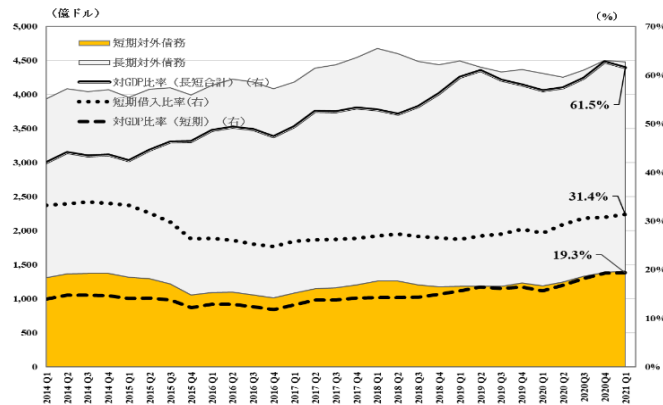
② 対外債務

対外債務残高（長期および短期合計）は 2018 年第 1 四半期をピークに緩やかな減少傾向にあったが、2020 年第 2 四半期以降、増加に転じている。2021 年第 1 四半期、残高合計の GDP 比率は 61.5%で過去最高水準である（図表 13）。債務の内容は、短期債務比率の上昇が続いており、2021 年第 1 四半期には 31.4%に達した。債務が長期から短期にシフトし、債務構造がより脆弱な方向に向かっていることを示している。

⁷ 外貨準備高の一部は、トルコ中央銀行がトルコ地場銀行から SWAP（中央銀行がトルコリラを貸し付けて、地場銀行のドルを受取る取引）により作られているといわれている（IMF4 条報告 2021 年）。トルコ中央銀行と地場銀行の取引であり、SWAP の書替は問題ないと思われるが、本メカニズムは注視する必要がある。

⁸ トルコは経済制裁等で在外資産が凍結された場合への備えとして金を備蓄しているといわれる。IMF は金を含めた金額で ARAM を計算している。金の換金性の高さを考えれば、金残高を外貨準備の一部と評価することは可能であるが、トルコの場合、保有している金の実態が不明である点に注意が必要。トルコ政府は保有する金の一部を担保として「ゴールド債」を発行している。

図表 13：対外債務残高と対 GDP 比率推移



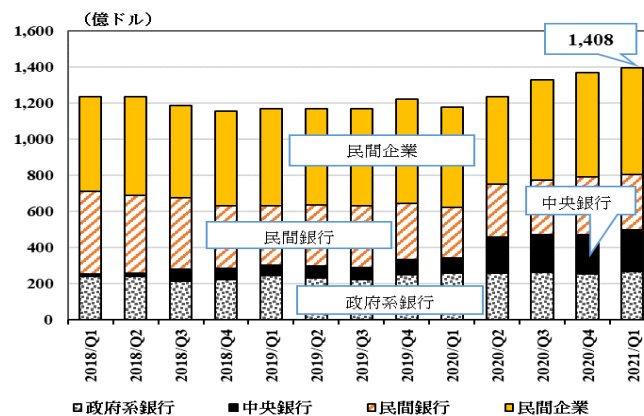
(資料) トルコ財務省データより国際通貨研究所作成

③ 短期対外債務

2020年第1四半期以降、短期対外債務が増加している。借入は民間企業が中心で、新型コロナウイルス感染拡大により経済活動が縮小したため、不足する資金を海外から調達したもののと思われる。また、中央銀行の調達が拡大している。2021年第1四半期、短期対外債務残高は、1,408億ドルで、借入人構成は、民間企業43%、民間銀行22%、政府系銀行19%、中央銀行16%であった（図表14）。

新型コロナウイルス感染拡大により経済活動が縮小したことで、企業の運転資金ニーズが高まり、借入が容易な短期資金に向かったものと思われる。しかしながら、トルコの借入人としてのリスクが改善しているわけではなく、貸手は慎重な態度を維持すると推測されることから、将来借り換えに支障が出る可能性がある。

図表 14：短期対外債務残高推移



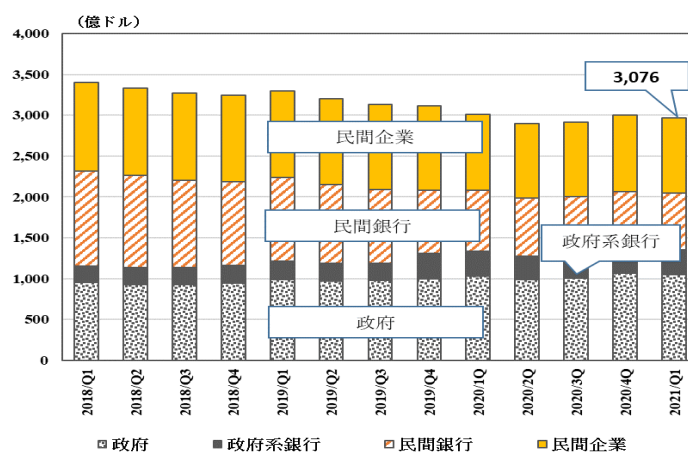
(資料)トルコ中央銀行データより作成

④ 長期対外債務

2020年第3四半期以降、長期対外債務も増加に転じている。2021年第1四半期には3,076億ドルに達し、借入人構成は、民間企業33%、政府32%、民間銀行25%、政府系銀行10%であった（図表15）。

トルコでは2013年から2015年にかけて短期対外債務比率が高めであったため、政府が長期借入へのシフトを推奨してきた。その結果、2016年以降、長期対外債務が民間・政府両部門で徐々に増加し、2018年第1四半期に3,415億ドルを記録、対外債務の長期比率は73%であった。しかし、その後、長期対外債務は減少傾向に転じ、2020年第2四半期には3,011億ドルまで低下した。現状、短期対外債務が、長期を上回って増加しており、短期比率が徐々に高まる傾向が続くものと思われる。

図表15：長期対外債務残高推移



（資料）財務省データより国際通貨研究所作成

(5) 為替相場、CDS 動向

① 為替相場

トルコリラの為替相場（対ドル相場）は、政策金利、米国との実質金利差、外貨準備高、短期対外債務、およびこれらに影響を与える経済成長動向（2020年以降は特に新型コロナウイルス感染拡大動向）に左右される。

政策金利

エルドアン大統領が独自の金利観⁹に基づき中央銀行の金融政策に介入した結果、

⁹ 「金利高がインフレをもたらす」との考え。

2020 年 1 月から 10 月までの間、政策金利（1 週間レポ金利）がインフレ率よりも低い水準にあった（図表 16）。これが、トルコリラ安圧力となり、2020 年初に 1 ドル 6 トルコリラ近辺であった為替相場が、11 月初旬には 8.47 まで下落した（図表 17）。しかし、11 月に中央銀行にアーバル新総裁が就任し、政策金利を 15%に引き上げてインフレ抑制姿勢を示すと、トルコリラは上昇に転じ 2021 年 2 月には 1 ドル 6.96 トルコリラまで回復した。しかし、3 月に政策金利を上昇させたことを理由にアーバル総裁が更迭されると市場は失望し、トルコリラは 8.33 まで急落。9 月中旬現在 8.58 近辺の水準で推移している¹⁰。

米国との実質金利差

内外の投資家は、米国とトルコの実質金利差を投資判断の参考にしている。実質金利差がマイナス（トルコ＜米国）であればトルコリラ安圧力となり、プラス（トルコ＞米国）はトルコリラ高要因となる。2019 年 8 月から 12 月や、2020 年 2 月は、米国の景気対策で金利を低めに誘導したため、トルコリラ安圧力が弱まっていた（図表 18）。今後、米国の景気が回復し米国内のインフレ懸念が高まると金融緩和が終了しドル金利が上昇する。トルコが金利を上昇させるか、トルコ国内のインフレが低下しない場合、実質金利差がマイナスとなりトルコリラ安圧力となって現れる公算が大きい。

外貨資金繰り（外貨準備・短期対外債務）

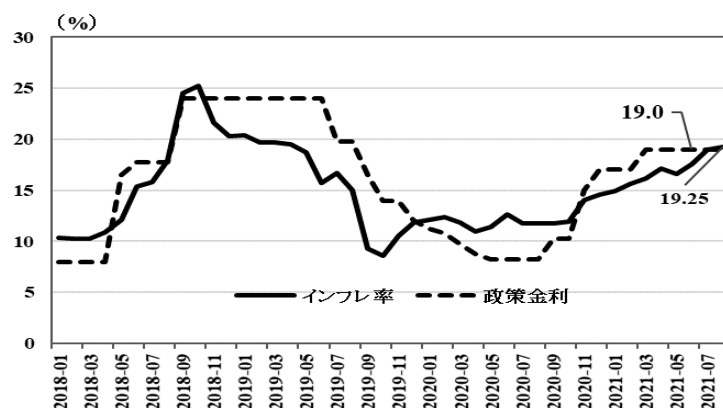
外貨準備高の減少や短期対外債務の増加はトルコの外貨資金繰り懸念につながり、トルコのカントリーリスクを高めるため、トルコリラ安材料である。前述の通り、いずれも悪化の方向にある。

新型コロナ感染拡大動向

これまで 3 回の感染拡大の波を抑えて、現在は小康状態にあるものの、感染者拡大が収束に向かうと思われる集団免疫の獲得は 2022 年以降になるとみられる。それまでの間、トルコ経済は本格的な成長に入れないためトルコリラ安につながる。

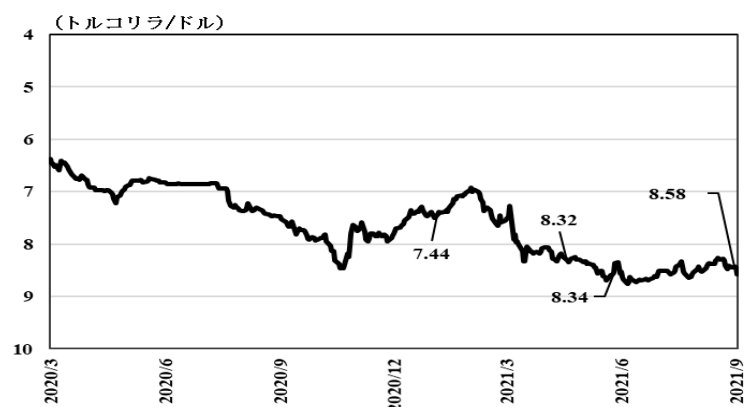
¹⁰ 9 月 23 日、政策金利を 18%に引き下げ以降、再びリラ安傾向にある。

図表 16：インフレ率と政策金利



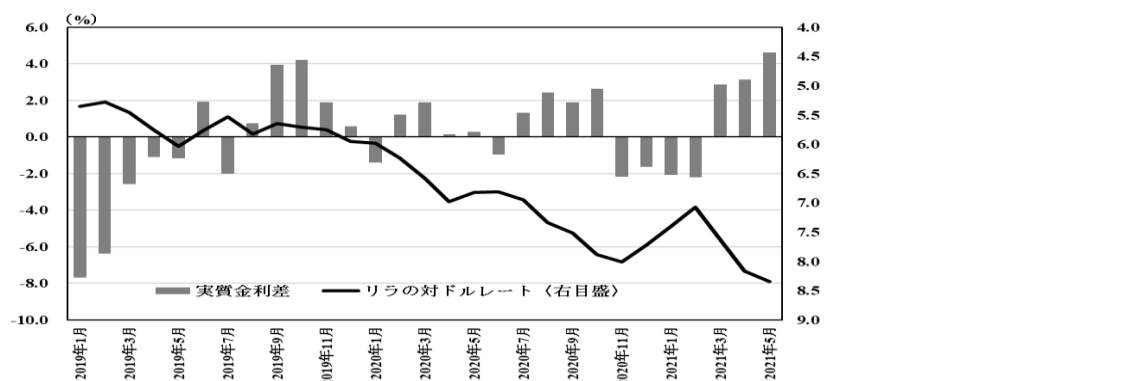
(資料) トルコ中央銀行データより国際通貨研究所作成

図表 17；トルコリラの対ドル相場の推移



(資料) Thomson Reuters データより国際通貨研究所作成

図表 18：米・トルコ実質金利差とトルコリラの対ドル相場の推移（月末）



(注) トルコ、米国とも 10 年物国債利回りと消費者物価 (CPI) 上昇率を用いて実質金利を算出した¹¹。
(資料) FRB、トルコ中央銀行データより作成

¹¹ トルコ：<https://www.investing.com/rates-bonds/turkey-10-year-bond-yield-historical-data/>、
米国：FED H15 Data

為替相場見通し

上記より、短期間でトルコリラが上昇に転じる可能性は低く、方向転換するとすれば、新型コロナ感染が収束に向かうとみられる 2022 年半ば以降となろう（図表 19）。

図表 19：トルコリラへの影響

影響する項目	○プラス △中立 ×マイナス	見通し
政策金利	引下げは×	アーバル総裁更迭で金融政策が不透明に
実質金利差	×	米国がインフレ対応で金利上昇させる可能性有
外貨資金繰り	×	悪化傾向
新型コロナ	△	現状小康状態だが、集団免疫獲得に時間がかかる

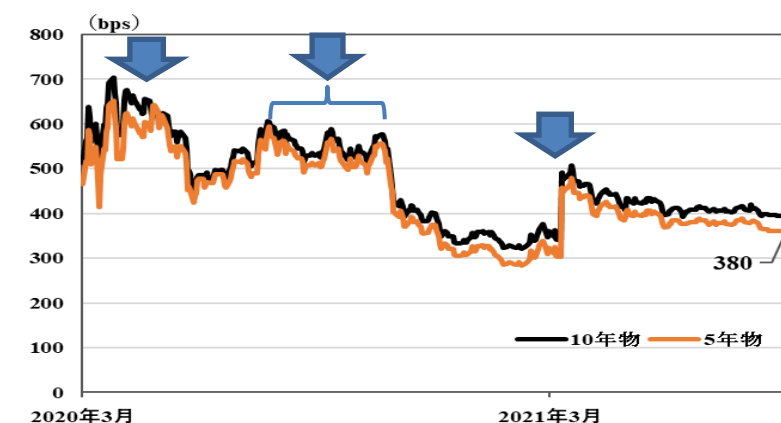
（資料）国際通貨研究所作成

② CDS の動向

2020 年 1 月以降のトルコ国債の CDS（クレジット・デフォルト・スワップ）スプレッドの動きを見る。2020 年 4 月と 2021 年 3 月に新型コロナ感染拡大、9 月から 11 月の間は地政学リスク（ナゴルノカラバフ紛争介入）、2020 年 8 月および 2021 年 3 月に為替相場（トルコリラ安）に反応して上昇したが、トルコ中央銀行が、インフレ圧力を踏まえ政策金利の維持を発表したことにより、当面は金融政策上のリスク上昇がないだろうとの期待から、CDS が 300 台に低下した（図表 20）。

今後の見通しとしては、トルコリラ下落傾向に歯止めがかからず為替相場の急落があった場合、CDS が上昇するおそれがある。地政学リスクについては（後述）、足元周辺国との軍事衝突は想定されず、CDS に影響はないであろう。新型コロナ感染拡大は、現状小康状態にはあるものの、行動規制を緩和すると再び感染が拡大するおそれがあり、その場合は CDS が反応して上昇するであろう。

図表 20：CDS スプレッドの推移



(資料) Thomson Reuters データより国際通貨研究所作成

(6) 格付機関の見方

2020 年 9 月、Moody's がトルコを B2（ネガティブ）に格下げした（図表 21）。対外部門の脆弱性が国際収支の危機につながる可能性が高まったことが理由である。

Moody's はトルコの課題として、外貨を海外からの資金流入に依存しており外貨準備が少ないこと、権限が大統領に集中しており政策の予見が難しいこと、および地政学リスクを挙げている。また、更なる格下要因として、2020 年のように、経済成長を優先して信用拡大を伴う金融緩和を行った場合や、地政学リスクが高まった場合を挙げている。強みとしては、中間所得層に厚みがあること、人口構成が良好で、貿易相手国が分散していること、公的債務残高が相対的に小さく追加借入余地があることを挙げている。また、2020 年 11 月以降の金融引締めを評価した。

S&P はトルコを 2018 年 8 月に格下げして以降、B+（安定的）を維持している（図表 21）。S&P は、公的債務残高の対 GDP 比率が相対的に低く追加借入余地があることを強みとして挙げており、2020 年、政府主導による信用拡大により新型コロナ感染拡大の経済への悪影響を乗り切ったこと、および 2020 年 11 月以降の金融引締めを評価している。他方課題としては、経常赤字の拡大、外貨準備の減少、高インフレ、複雑な外交関係を挙げ、政府組織のチェック・アンド・バランス機能が低下していると指摘している。また、格下要因としては、金融危機の発生により銀行の外貨調達が困難になった場合や、信用拡大の結果、不良債権が拡大した場合を挙げている。

Moody's と S&P を比較すると、強みや評価項目で共通している点は、公的債務残高の低さ、金融引締め政策であり、課題では、外貨資金繰り、政府の機能（政策の予見性やチェック・アンド・バランス）、地政学リスクである。両方で異なる点は、S&P が政

府主導の信用拡大でコロナ禍の経済的影響を乗り切ったことを評価しているのに対し、Moody's は同信用拡大が再度発生した場合はネガティブ要因としてとらえていることである（図表 22）。

今後の格下げ可能性については、Moody's が懸念する国内の信用拡大は現状収まっており（第 2 章 7 節、図表 23 参照）、地政学リスクは存在するものの顕現化していない（第 3 章参照）。よって、当面 Moody's の「B3」への再格下げはないと思われる。他方、S&P が心配する銀行の外貨資繰り難は、経常収支の悪化の結果発生する可能性があり、景気低迷が長期化すれば銀行の不良債権が増加する可能性も高まる。このため、S&P が今後「B」への格下げに踏み切る可能性が残ろう。

図表 21：トルコのソブリン格付推移

	Moody's			S&P		
2013年3月	..	..	..	格上げ	BB+	安定的
2013年5月	格上げ	Baa3	安定的	..	..	..
2014年2月	..	..	..	..	BB+	ネガティブ
2014年4月	..	Baa3	ネガティブ	..	..	..
2016年5月	..	..	..	..	BB+	安定的
2016年7月	..	..	..	格下げ	BB	ネガティブ
2016年9月	格下げ	Ba1	安定的	..	..	..
2016年11月	..	..	..	..	BB	安定的
2017年1月	..	..	..	..	BB	ネガティブ
2017年3月	..	Ba1	ネガティブ	..	..	..
2018年3月	格下げ	Ba2	安定的	..	..	..
2018年5月	..	..	..	格下げ	BB-	安定的
2018年8月	格下げ	Ba3	ネガティブ	格下げ	B+	安定的
2019年6月	格下げ	B1	ネガティブ	..	..	..
2020年6月	維持	B1	ネガティブ	..	..	..
2020年7月	..	..	..	維持	B+	安定的
2020年9月	格下げ	B2	ネガティブ	..	..	..
2021年1月	..	..	..	維持	B+	安定的

（資料）Moody's、S&P 資料より国際通貨研究所作成

図表 22：格付機関の見方

	S&P (B+, 安定的)	Moody's (B2, ネガティブ)
強み あるいは評価しているポイント	・公的債務のGDP比率が相対的に低く、追加借り入れ余地がある。 ・2020年、政府主導の信用拡大でコロナ禍の経済的影響を乗り切ったこと、及び伝統的金融手法（金融引締め）への回帰を評価。	・中間所得層が厚い。 ・人口構成が好ましく、貿易相手が分散している。 ・公的債務残高が相対的に低い。 ・金融引締め政策を評価。
課題	・経常赤字拡大、外準減少、高インフレ。 ・政府組織のチェック・アンド・バランス機能が低下。 ・外交関係が複雑	・外貨資金繰りを海外からの資金流入に依存しており脆弱。外貨準備が少ない。 ・大統領に権限が集中し、政策の予見性が低い。 ・地政学リスク
格下要因	・金融危機の発生により、銀行の外貨資金調達が困難になった場合。 ・信用拡大の結果不良債権の拡大。	・信用拡大を伴う金融緩和によって成長を目指した場合。 ・地政学リスクが高まった場合。

（資料）Moody's、S&P 資料より国際通貨研究所作成

(7) 今後の見通し～トルコの課題と強み

トルコの課題と強みを整理した上で、今後の見通しについて述べる。

① トルコの課題

ファンダメンタルズの脆弱性

経済状況は1年前から大きくは改善していない。経済の牽引役である輸出が、最大の輸出先である欧州連合（EU）の景気低迷の影響を受け大きく落ち込んだ¹²。EU 経済は2021 年に入り回復の兆しを見せているが、通年でコロナ前の水準に回復するには2022 年いっぱいかかるとみられることから¹³、トルコから EU への輸出は当面伸び悩むと思われる。また、主要産業である観光業についても¹⁴、海外観光客の回復には相当の時間を要するとみられる¹⁵。

海外資本流入の不安定性

海外からみた投資環境は1年前よりも悪化している。金融政策が政治介入により一貫

¹² EU がトルコの輸出に占める割合は42%、2018 年。

¹³ 三菱 UFJ 銀行「内外経済の見通し（2021 年5 月）」

¹⁴ 2018 年の観光客到着数は約4,600 万人で、観光収入の GDP 比率は4.2%であった。

¹⁵ トルコへの観光客が多いロシアは、トルコでの新型コロナ感染拡大を理由に2021 年6 月後半までフライトを停止していた。

しないことから、投資家のトルコへの信任が低下し、海外からの資本流入の継続性が一層不透明になっている。2020年11月に中央銀行総裁がアーバル新総裁に交代したことで、インフレ抑制への期待が高まり証券投資資金が流入した。しかし、2021年3月に中央銀行が政策金利を19%に引き上げると、エルドアン大統領が中央銀行総裁を更迭し、副総裁も解任した。その結果、投資家が先行きに不透さを感じ、証券投資資金が流出した。

外交的な孤立

対米関係は、バイデン大統領になり、緊張が高まっている。トルコ外交は、対米、対EU、対アラブ諸国など周辺国との関係に分けられる。現状、いずれの方面も良好な関係とはいえず、外交的な孤立が深まっている（第3章参照）。

国内与信の拡大

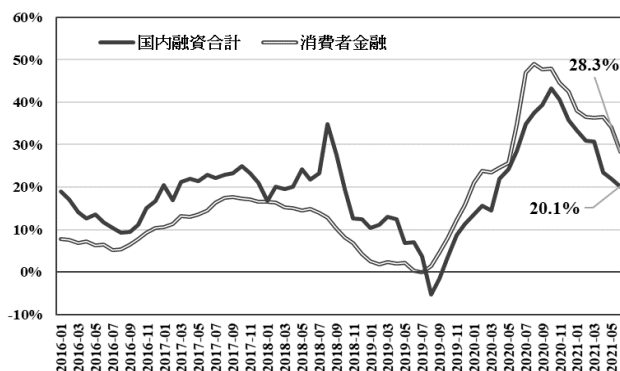
2020年に急拡大した国内与信は、2021年に入り伸びが縮小している。トルコ政府は、新型コロナ感染拡大の影響を受けた経済を刺激するため、国内向け与信を急拡大し、ストックベースでもGDPの98%まで積みあがった（図表23）。現状、与信の伸びは一段落しているが、今後、再度拡大した場合、インフレの高進など経済への負担が懸念される。

構造改革の遅れ

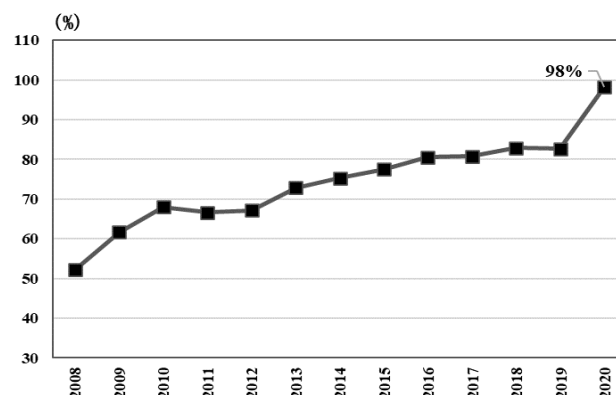
2021年3月に「新経済改革パッケージ」を発表したが、具体的な施策の実施はこれからである。トルコ政府は、構造的な経済改革よりも景気の安定を優先してきた。この姿勢は、新型コロナ感染拡大による景気低迷に歯止めをかけるという観点では一定の効果があつた。トルコ政府は「コロナ後」を見通すため、「新経済改革パッケージ」の中で、財政規律強化、インフレ抑制などを謳っている。しかし、大統領が大衆の支持を得るため、財政支出を拡大したり、インフレを無視した金融緩和を行った場合は、経済改革が進まないおそれがある。

図表 23：与信残高の伸び率（前年同月比）（左）

金融機関与信額の対 GDP 比率推移（右）



（資料）トルコ中央銀行データより国際通貨研究所作成



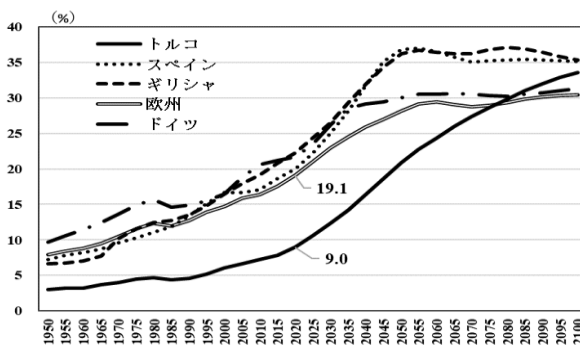
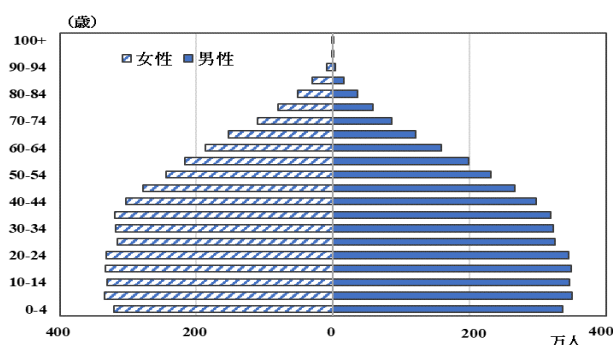
（資料）世界銀行データより国際通貨研究所作成

② トルコの強み

人口構成と若年層の潜在性

産業を支える労働人口がバランスしており、若年層の教育レベルが向上している。生産年齢人口 5,650 万人のうち、30 歳以上 50 歳未満の働き盛りが 43%を占めるなど相対的に高齢化が進んでいないことから¹⁶、労働者の経済的負担が少なく、人口のボーナスを享受できる余地が残っている（図表 24）。若年層に関しては、中等教育における理数学科の基礎学力が改善してきており、将来を支える人材が育っていることがうかがえる（図表 25）。

図表 24：人口構成（左）と高齢人口比率推移（右）

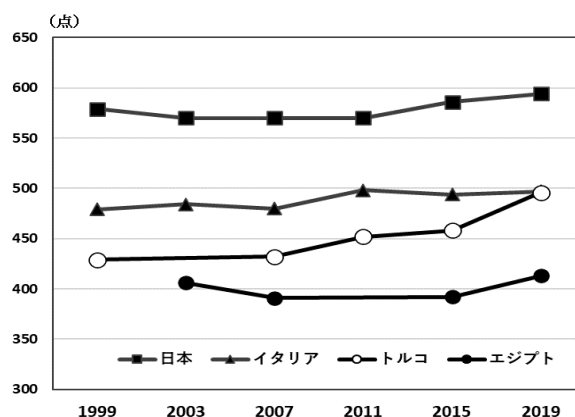


（注）高齢人口は 65 歳以上の人口比率。

（資料）国連データより国際通貨研究所作成

¹⁶ 2020 年、トルコの高齢者比率が 9%、欧州全体では 19%であった。

図表 25：国際数学・理科教育動向調査（TIMSS）、中学校数学



（資料）文部科学省資料より国際通貨研究所作成

EU 向け輸出の潜在的伸び

新型コロナウイルス拡大により広がった非対面型経済向けとして、トルコが得意とする IT 機材の需要の高まりが期待できる¹⁷。また、EU 企業がグローバル・サプライチェーンを見直す際、トルコの地理的な近さが強みとなる。

エネルギー輸入の抑制

当面、エネルギー価格の急激な上昇が想定されておらず、エネルギー輸入の伸びが抑制されている。世界的な「脱炭素」の流れにより、中期的に石油などの炭化水素エネルギー需要が減少する見込みである。そのため、現状エネルギー価格が安定している¹⁸。これは、エネルギーの 70%を輸入に依存しているトルコにとりプラス材料である。また、黒海で天然ガスが発見されたことも明るい材料である¹⁹。

外部の金融サポート

中国とカタールがトルコへの金融サポートを継続していることが安心材料である。中国は 2021 年 6 月に通貨スワップ協定を拡大して、トルコ支援を明確にしている²⁰。

¹⁷ トルコ政府は IT セクターを優先投資産業と位置付けており、既に IT 企業 2000 社、R&D センター1000 カ所が稼働。Turk Telekom など地場企業に加え、CISCO、IBM、SAP、Microsoft が製造拠点を有する。

¹⁸ 2021 年から 2022 年の原油価格（WTI）見通しは、1 バレルあたり 61～62 ドル。三菱 UFJ 内外経済の見通し（2021 年 5 月）。

¹⁹ 推定埋蔵量 3,200 億 m³、トルコ消費量の 7 年分

²⁰ カタールと 15 億ドル、中国と 60 億ドル（24 億ドルから拡大）。

③ 今後の見通し

ファンダメンタルズ面の課題に明確な改善の兆しが見えず、強みの発揮が新型コロナ収束次第であることは、トルコ経済の見通しを悲観的にしている。トルコ経済が諸課題を克服して順調な成長に復帰するのは、2022 年後半かそれ以降となろう。

上記の 5 つの課題のうち、ファンダメンタルズの脆弱性、海外資本流入の不安定性、外交的な孤立の 3 つは昨年より状況が悪化もしくは改善しておらず、短期的に状況の改善が見通せない。また、新経済改革パッケージを発表したが、どこまで実効性をもって実施されるかは不透明である。強みでは、労働力の質や EU との取引拡大に潜在性があるものの、実力の発揮は新型コロナの収束次第である。現状、エネルギー価格が安定していることや、中国などの支援が期待できるとはいえ、いずれも安心材料であり、トルコの経済成長率を押し上げるほどのものではない。

新型コロナの収束は、集団免疫の獲得が鍵となる。欧州で 2021 年いっぱいかかるといわれており、トルコに関しては、現在のワクチン接種の状況から考えて、2022 年以降となるとみられる。

3. 地政学リスクと今後の見通し

トルコ的外交は、大きく対米関係、対 EU 関係、アラブ諸国など周辺国との関係に分けることができる。現状、これら各方面で課題を抱えており、トルコ的外交的な孤立が深まっている。

トルコはこの外交的孤立から逃れようと、2020 年 11 月の米バイデン大統領選出を境に、近隣外交姿勢を変化させた。それまでは、シリアやリビアに派兵して政治介入した他、同盟国支援するという名目でアゼルバイジャンとアルメニアの領土紛争（ナゴルノカラバフ問題）にも軍事介入した。また、ウクライナとも軍事協定を締結し、地域での軍事プレゼンスを拡大した。しかし、米大統領選以降は、トルコ軍がシリアから撤退、リビアでは国連の支援により暫定政府が樹立されトルコの軍事介入の可能性が低下した。また、アゼルバイジャンとアルメニアの紛争も停戦に至り、トルコ軍は撤退した。

(1) 対米関係

バイデン大統領になり、米国との政治的緊張が高まった。エルドアン大統領は、トランプ大統領とは個人的関係を通じて政治的な駆け引きを行えたが、バイデン大統領にはその手法は通用しない。特別扱いを望むトルコに対し、正論と組織で対応する米国が有利である。トルコは、決定的な対立を避けるため、なんらかの妥協を模索する可能性があり、その場合関係は修復に向かうと思われる。

トルコは、米国との間でいくつかの課題を抱えている。最大のものは、2019 年にロシアから購入した S400 ミサイルシステムである。二つ目はシリアでは対「イスラム国」戦闘で成果を挙げたクルド族の取り扱いである。今年 6 月の米・トルコ首脳会談で、これらの課題解決に向けた動きが期待されたが、進展はなかった。トルコは、NATO 軍のアフガニスタン撤退後、空港警備を肩代わりすることで米国に協力姿勢を示そうとしている。トルコが、NATO を含めた対米関係でバランスのとれた対応をすることが求められる。

① S400 ミサイル問題

2019 年 8 月、トルコが、ロシアを仮想敵国とする北大西洋条約機構（NATO）の一員でありながら、ロシアの防衛システム S400 を購入したことで、米国および NATO 諸国との関係が悪化した。トランプ前政権は、S400 ミサイル問題に関し、政権末期に対トル

コ制裁を実施した²¹。バイデン政権は、トルコに S400 購入の撤回を求めているが、トルコは米国がパトリオット・ミサイルシステムを売却しなかったことを理由に²²、これに応じる気配がない。

最悪の事態は、トルコの NATO 脱退であるが、トルコは欧米との関係を重要視していることから、直ちに脱退に至るとは考えられない。エルドアン大統領は、バイデン大統領との個人的な関係を構築することで、なし崩し的に S400 の保有を認めさせたい考えであるが、米国側は NATO としてのバランスを重視しており、トルコが仮想敵国の武器保有を認めるとは思えない。トルコ側が譲歩しない限り本件の解決は難しい。

② シリア・クルド族問題

シリアにおけるクルド族の取り扱いについて、米国とトルコで意見が合わない。2011 年以降続いているシリア内戦に乗じて勢力を拡大した「イスラム国」との戦闘で、シリア内のクルド人民防衛隊（YPG）が成果を挙げた。米国は「テロとの戦い」の観点から YPG 支援をしている²³。しかし、トルコは同支援がトルコで反政府運動を行うクルディスタン労働党（PKK）を利するとの立場から、米国の対応に反対の立場である。クルド問題はトルコ国内治安にかかわるため、エルドアン大統領が態度を変えるとは思えない。本件は平行線をたどる可能性がある。

(2) 対 EU 関係

トルコは EU と政治的にいくつかの課題を抱えており、良好な外交関係とは言い難い。しかしながら、双方とも問題が拡大しないよう慎重に対応しており、両者の関係は課題をかかえた状態で推移するものと思われる。

① 東地中海天然ガス問題

東地中海の海底ガス田をめぐる、トルコとキプロス・ギリシャの対立。2010 年頃に東地中海海底に天然ガス田が発見されて以降、キプロス、イスラエル、エジプトが同海域で採掘している。他方、トルコは下記の南北キプロス問題からキプロス周辺の領海が確定していない。そのため、独自の判断でキプロス沖での採掘作業を開始したが、EU は

²¹ 2020 年 12 月、米国がトルコ産業防衛庁（SSB）に対し「敵対者に対する制裁措置法（CATSA）」に基づき、米国での資産凍結を実施した。

²² オバマ政権（当時）が、トルコへのパトリオット・ミサイルシステム売却を拒否した。

²³ 2021 年 5 月、バイデン政権が 1.8 億ドルの YPG 支援を決めた。

トルコの採掘が違法であるとし 2019 年 11 月に対トルコ制裁²⁴を決議した。その後、トルコ側は目立った動きをしていない。2020 年 12 月に EU が追加制裁を発表したが、米国の介入により決議には至らなかった。

② 難民問題

トルコ経由の難民が EU を圧迫する状態が続いている。難民をめぐるトルコ・EU 間の合意内容の実行が進展しない場合、トルコが難民の EU 流入を政治的な圧力に使う可能性がある。

2015 年、大規模な難民が EU に押し寄せた²⁵。多くがトルコを経由して流入したことから、EU がトルコと交渉し 2016 年に難民流入抑制に関する合意に達した²⁶。その後、難民の流入規模は縮小したものの、同合意には EU がトルコ人にビザ無し移動を認めることや、トルコが南北キプロス統合に協力することが含まれており、双方が約束を完全に実行することは容易ではない。

③ アヤソフィアの再モスク化問題

2020 年、アヤソフィア博物館を再モスク化したことが欧米のトルコ批判を招いた。トルコ側にイスラム法上の言い分があるものの、再モスク化はオスマン帝国による東ローマ帝国侵略を想起させた。同様の動きが、トルコ内で広がった場合、対 EU 関係悪化材料になる。なお、米バイデン政権は、このトルコの動きを懸念しているといわれる。

④ 南北キプロス問題

2017 年を最後に交渉が中断している。1974 年にトルコがキプロス島の北部を占領。1983 年にトルコの支援を受けた「北キプロス・トルコ共和国」が独立したが、承認した国はトルコのみであった。2004 年に南部のギリシャ系「キプロス共和国」が単独で EU に加盟した。その後、南北和平交渉が行われたが進展がない²⁷。

⑤ EU 加盟交渉

現状全く動きがない。2005 年に始まったトルコの EU への加盟交渉は、2016 年頃か

²⁴ トルコ国営石油会社幹部の EU 渡航禁止、および資産凍結。

²⁵ 2015 年、EU での難民申請者数は約 120 万人でその 3 分の 1 がシリア人であった。

²⁶ トルコからギリシャに到着した非正規移民をトルコに送還すると同時に、同数のトルコのシリア難民を EU 諸国で受け入れる、という内容。

²⁷ 2021 年 7 月、エルドアン大統領は改めて「北キプロス・トルコ共和国」支持を表明。

ら事実上中断している。2021 年 5 月欧州議会は、トルコが人権を著しく侵害しているとして、加盟交渉の停止を関係国に呼びかけた。

(3) 周辺諸国との関係（重要と思われる順）

① サウジアラビア

トルコは外交的な孤立から脱却するため、アラブ諸国との関係改善を目指している。サウジアラビアはアラブ諸国に影響力があるため、トルコにとりサウジアラビアとの関係改善が急務であるが、サウジアラビアから前向きな反応はない。

2017 年、サウジアラビアと他のアラブ諸国がボイコットしたカタールをトルコが支援したこと、2018 年のカショギ事件²⁸でトルコがサウジアラビアを非難したことで関係が悪化した。また、トルコがサウジアラビアが危険視するムスリム同胞団を支援していること、トルコとイランの関係などが対立の種となっている。2020 年には、サウジアラビアがトルコ製品をボイコットしているとの噂が広まった。

2021 年に入り、サウジアラビアとカタールが和解したことで緊張がやや和らいだ。また、トルコは「カショギ事件に関するサウジアラビア裁判所の決定を尊重する」²⁹と発表し、これ以上非難しない姿勢を示したうえで、外務大臣をサウジアラビアに派遣するなどの関係改善努力を行った。しかしながら、サウジアラビアは明確な反応をせず、かえって「2021 年いっぱいサウジアラビア内のトルコ系学校を閉鎖する」とトルコに通告しており、両者の関係は冷却したままである。

② リビア内戦

リビア内戦は収束に向かっている。2021 年 3 月、国連の支援により、暫定統一政府が樹立された。以降、リビア東西勢力（西：GNA、東：LNA）の武力衝突はなく、リビア国内は安定を取り戻している。2020 年 1 月にトルコが GNA を支援するために派兵したが、統一政府樹立後、トルコ軍の活動は報告されていない。2021 年 12 月にリビア統一選挙を予定している。今後、リビア情勢は紆余曲折を経る可能性はあるが、トルコが内戦に介入して混乱が拡大する可能性は低下した。

²⁸ 2018 年 10 月、イスタンブールのサウジアラビア領事館内でサウジアラビア人ジャーナリスト、ジャマール・カショギ氏が殺害されたとされる事件。トルコは、殺害がサウジアラビアのムハンマド皇太子の指示によるものであるとして、同国を非難した。

²⁹ サウジアラビア Arab News 報道。

③ シリア内戦

軍事衝突のリスクは低下した。2020年11月、トルコは、シリア北部のイドリブ県に展開していた軍隊を撤退させた。北部国境地帯でも、目立った動きはない。戦線の拡大には慎重で、対立するシリア政府を背後から支援しているロシアとも連絡を取るなど、直接衝突のリスクは低下している。

④ コーカサス（ナゴルノカラバフ紛争）

停戦合意により、紛争拡大の可能性は低下した。2020年9月、アゼルバイジャンとアルメニアの間で、ナゴルノカラバフ地域の領有をめぐる軍事衝突が発生した。トルコがアゼルバイジャンを支援して軍事介入し、紛争の拡大が心配された。しかし、同11月にロシアの仲介で停戦合意がなされ戦闘は終結した。

⑤ エジプト

トルコが、対立するエジプトとの関係を改善し、東地中海海底ガス田をめぐるEUとの交渉を有利に運ぼうとしている³⁰。2011年の「アラブの春」後、エジプトでムスリム同胞団がイスラム政権を樹立した。しかし、2013年の軍事クーデターでエジプトのイスラム政権は転覆し、エジプトはムスリム同胞団を非合法化した。しかし、トルコがその後もムスリム同胞団を支援したため、両国の関係は悪化した。2021年に入り、トルコの呼びかけで事務レベルの協議を開始したが、成果は発表されていない。

(4) アフガニスタン

トルコはアフガニスタンと隣接しておらず、直接的な地政学リスクとはならない。しかし、アフガニスタン難民が欧州を目指す際、トルコを通過することからトルコは東側国境の警備を厳重にして、難民の流入に警戒している。

8月のカブール陥落の直前、トルコは、NATOの一員として貢献をアピールするため、カブール空港の警備担当を申し出ていたが、現地の治安悪化にともない、8月末までに撤退した。

³⁰ エジプトは東地中海ガスフォーラム（エジプト、キプロス、ギリシャ、イスラエル、イタリア、ヨルダン、パレスチナ）の中心的な国である。

図表 26：地政学リスク評価とトリガーポイント

相手国（地域）	リスク評価			トリガーポイント
	前年比	短期	中期	
米国		中	低	・米国がS400問題関連で制裁拡大 ・トルコが、シリアのクルド族を攻撃
EU	不変	低	低	・トルコが、東地中海ガス田掘削再開 ・トルコが、難民問題を政治圧力に使う ・アヤソフィア以外でのイスラム化進展 ・南北キプロスの武力衝突 ・EU加盟交渉枠組みの破棄
サウジアラビア	不変	低	低	指導者層の不和（エルドアン大統領とムハンマド皇太子）
リビア		低	低	2021年12月の総選挙失敗でトルコが再介入
シリア		低	低	シリアの国内不安定化によりトルコが派兵
コーカサス		低	低	新たな紛争の発生
エジプト	不変	低	低	イスラム主義者保護継続とエジプトの反発
アフガニスタン		低	低	アフガニスタン難民の流入

（注）前年比：はリスクが昨年よりも高まったことを、は昨年より低下したことを示す。

（資料）各種資料より国際通貨研究所作成

以 上

補足：トルコ関連クロノロジー

	トルコ	トルコと周辺諸国	トルコとEU・USA
2019年3月	地方選挙（アンカラ、イスタンブール、イズミール）でAKPが市長の座を失う。		
2019年6月	イスタンブール市長再選挙。AKP敗退。		
2019年8月			トルコがロシア製S400ミサイル防衛システム導入。NATOとの関係悪化。
2019年10月		シリア：トルコ軍がシリア領土に侵入し「安全地帯」の設置を開始。「平和の泉」作戦。	
2019年11月		リビア：トルコがリビア（GNA）と排他的経済水域に合意。	
2019年11月			EUが、キプロス海域でのトルコによる違法天然ガス発掘に対し制裁実施を決定（2020年2月決議）
2019年12月		リビア：GNAがトルコに軍事支援を要請	
2020年1月		リビア：トルコが派兵を決議。	
2020年3月		シリア：イブリド県越境「春の盾」作戦実施。	
2020年4月	新型コロナ感染拡大		
2020年5月		シリア：トルコ国境を米ロシア共同警備	
		リビア：トルコがGNAにドローンを提供、LNAをトリポリから排除。	
2020年6月		リビア：トルコがGNAと軍事基地使用を協議。	
2020年7月	新型コロナ後の経済活動再開	リビア：仏海軍がリビアに武器を輸送していると思われるトルコ貨物船を臨検しようとしたところ、トルコ海軍が仏海軍に砲撃用レーダー照射。フランス政府は強く反発しNATO共同軍事演習への不参加を表明。	
2020年7月		リビア：フランスがトルコのリビア軍事介入に対し、制裁の協議をEUに申し入れ。	
		リビア：トルコがGNAと軍事協定締結	
2020年9月		アゼルバイジャン：トルコがナゴルノカラバフ領土紛争に介入（44日戦争）。11月に停戦。	
		ウクライナ：トルコとウクライナが軍事協力協定	
2020年11月	中央銀行総裁を更迭。後任は元財務大臣のナージ・アバール氏。金融政策転換。	シリア：トルコ軍、シリア北部（イブリド）から撤退開始	米国、バイデン大統領選出。
		アゼルバイジャン：アルメニアと停戦合意	
2020年12月		リビア：国連が統一政府樹立にむけ介入	
			米国が、トルコがロシア製S400ミサイル防衛システムを導入したことに対し制裁を決定。
2021年1月		シリア：北部主要都市アレppoの空港再開	トルコとギリシアが5年ぶりに2国間協議。
2021年2月	国内移動規制を緩和		
2021年3月	中央銀行総裁を更迭（半年で2回目）。後任はシャハブ・カブジュオール氏。副総裁も解雇。	リビア：暫定統一政府樹立、デイバ暫定首相、任期2021年12月の選挙まで。	
2021年4月		ウクライナ：トルコが攻撃型ドローンで軍事支援。	トルコ・ギリシア外相会談、歩み寄り進展なし。
2021年5月		シリア：アサド大統領再選	
		サウジアラビア：トルコが外相を派遣。関係改善が目的。	
		エジプト：関係改善交渉開始。	
2021年6月			エルドアン・バイデン首脳会談、成果なく終わる。S400およびシリア・クルド問題。
2021年7月			

（資料）各種報道より国際通貨研究所作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべて御客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してくださ

Copyright 2021 Institute for International Monetary Affairs (公益財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: Nihon Life Nihonbashi Bldg., 8F 2-13-12, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo 103-0027, Japan

Telephone: 81-3-3510-0882

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-13-12 日本生命日本橋ビル 8 階

電話 : 03-3510-0882 (代)

e-mail: admin@iima.or.jp

URL: <https://www.iima.or.jp>